

令和5年度 決算

**銚子市の
わかりやすい
決算書**



～ はじめに ～

本市では、難しいと思われがちな決算について、見やすさとわかりやすさを念頭において作成した「銚子市のわかりやすい決算書」を発行しています。この“わかりやすい決算書”を通じ、市の財政に対して、皆様のご理解が深まるきっかけになれば幸いです。

目次

令和5年度一般会計の主な事業	1
決算の基礎知識	6
決算のあらまし	7
各会計の決算状況	8
一般会計の歳入歳出決算	9
財政構造の弾力性と健全化判断比率	12
借金残高	14
貯金残高	15
普通会計決算の近隣市との比較	16



決算額は1円単位で報告するものですが、本書では見やすさを優先するため“万円”単位で表示しています。

また、合計値を合わせるため端数の四捨五入の切り上げ、切り下げを調整している箇所があります。



まずは、令和5年度の一般会計※
の主な事業を紹介するっちょ！

※ “一般会計” の意味は6ページを見てちょ

銚子市公認キャラクター ちょーぴー

- 1 子育て支援の充実
- 2 特色あるまちづくり
- 3 DXの推進
- 4 保健・医療・福祉の充実
- 5 産業の振興
- 6 公共施設の適正管理
- 7 教育・文化の振興
- 8 物価高騰対応支援



主な事業は、上の8つだっちょ！！

令和5年度一般会計の主な事業

(事業名)			
	所管	〇〇〇〇室 …… 担当部署	
	事業費	〇〇〇万円 …… 事業にかかったお金（決算額）	
	財源	補助	〇〇〇万円 …… 国や県からの補助金、交付金、負担金など
		借金	〇〇〇万円 …… 事業費に充てるため、市が国や銀行などから借りたお金
	市	〇〇〇万円 …… 市税や使用料、基金などの市の自主財源	
〇〇〇〇〇〇〇〇 …… 事業の説明			

1 子育て支援の充実

学校給食費無償化・負担軽減			
	所管	学校給食センター	
	事業費	8,715万円	
	財源	補助	8,592万円
		市	123万円
<p>子育て世帯の経済的負担を軽減するため、小中学生の学校給食費を、令和5年4月から9月まで3割軽減し、令和5年10月から令和6年3月まで無償化しました（第3子以降の児童・生徒は令和5年4月～令和6年3月まで無償化）。</p>			

子ども医療費等給付			
	所管	子育て支援課	
	事業費	1億3,095万円	
	財源	補助	3,038万円
		市	1億57万円
<p>子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもの医療費を助成しました。また、令和5年8月から現物給付の対象を高校生年代まで拡大し、子育て支援体制の充実を図りました。</p>			

保育所におけるICT化推進			
	所管	子育て支援室	
	事業費	1,171万円	
	財源	補助	586万円
		市	585万円
<p>保育所利用者の利便性の向上と保育サービスの充実、併せて、保育士の負担軽減を図るため、保育に関する計画や記録、登所の管理などの保育業務の支援システムを導入しました。</p>			

ファミリー・サポート・センター			
	所管	子育て支援課	
	事業費	386万円	
	財源	補助	257万円
		市	129万円
<p>子育て中の労働者や主婦などを会員として、子どもの送迎や一時的な預かりなどの援助を受けたい人と援助を行いたい人との相互援助活動に関する連絡と調整を行う「ファミリー・サポート・センター」業務を銚子市社会福祉協議会に委託し、子育て支援の充実を図りました。</p>			

2 特色あるまちづくり

立地適正化計画策定

	所管	都市整備室	
	事業費	1,138万円	
	財源	補助	520万円
		借金	
市		618万円	

人口減少下にあっても持続可能な都市の実現を目指すため、中・長期的なまちづくりの指標となる「銚子市立地適正化計画」を策定しました。

地域公共交通計画策定

	所管	企画室	
	事業費	787万円	
	財源	補助	
		借金	
市		787万円	

今後の人口減少や少子高齢化を見据え、「銚子市立地適正化計画」などの関連計画と連携を図りながら、持続可能な地域公共交通網を形成するため、公共交通政策のマスタープランとなる「銚子市地域公共交通計画」を策定しました。

地域活性化起業人制度活用

	所管	公民連携事業室	
	事業費	607万円	
	財源	補助	
		借金	
市		607万円	

民間企業から派遣された社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かしながら地域独自の魅力や価値の向上などにつながる業務に従事してもらう制度で、令和5年度は2名の地域活性化起業人を受け入れました。

ゼロカーボンシティ推進

	所管	洋上風力推進室	
	事業費	948万円	
	財源	補助	710万円
		借金	
市		238万円	

2050年のゼロカーボンシティの実現に向け、令和5年度は公共施設等太陽光発電設備導入調査を実施し、公共施設等への太陽光発電設備の導入に向けたロードマップを作成しました。

3 D X の推進

※ D X（デジタル・トランスフォーメーション）：ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること

住民票等コンビニ交付

	所管	市民室	
	事業費	1,047万円	
	財源	補助	
		借金	1,000万円
市		47万円	

マイナンバーカードを使用して、コンビニエンスストアなどで住民票と印鑑登録証明書の取得を可能にしたもので、令和6年3月から利用を開始しました。

市議会 D X 推進

	所管	議会事務局	
	事業費	186万円	
	財源	補助	
		借金	
市		186万円	

効率的で迅速な議会運営及びペーパーレス化を推進するため、令和5年12月市議会定例会からタブレット端末の活用を開始しました。

4 保健・医療・福祉の充実

地域活動支援センターⅡ型				
	所管	障害支援室		
	事業費	900万円		
	財源	補助	148万円	
		借金		
市		752万円		
<p>令和5年4月から地域活動支援センターⅡ型を開設し、障害者の日中の居場所と、それぞれの特性に合わせた創作的活動や生産活動などの機会を提供しました。</p>				

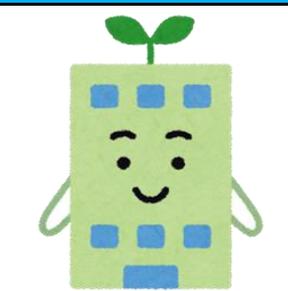
病院事業会計負担、補助及び出資 (指定管理者交付金)				
	所管	健康・地域医療推進室		
	事業費	4億6,100万円		
	財源	補助		
		借金		
市		4億6,100万円		
<p>銚子市立病院の安定的な運営を図り、医療の提供を確保するため、一般社団法人銚子市医療公社に対する医療従事者人件費補てん交付金の財源として、一般会計から病院事業会計に補助金を交付しました。</p>				

私的二次救急医療機関運営支援				
	所管	健康・地域医療推進室		
	事業費	1,130万円		
	財源	補助		
		借金		
市		1,130万円		
<p>市内の二次救急医療体制を確保・継続するため、民間の二次救急告示医療機関に対し、救急搬送受入れ傷病者数に応じて補助金を交付しました。</p>				

産後ケア				
	所管	保健事業室		
	事業費	108万円		
	財源	補助	47万円	
		借金		
市		61万円		
<p>妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援として、退院直後の母子に対して心身ケアや育児のサポートなどを実施し、産後も安心して子育てができる支援体制を確保しました。</p>				

5 産業の振興

ふるさと納税関係				
	所管	観光プロモーション室		
	事業費	3億5,179万円		
	財源	補助		
		借金		
市		3億5,179万円		
<p>寄附者の利便性を高め全国から広く寄附を募り、返礼品を通じて地元事業者の支援を図りました。令和5年度は、当初の目標である5億円を大きく上回る約7億円の寄附をいただきました。</p>				

企業立地等促進				
	所管	産業振興室		
	事業費	3,903万円		
	財源	補助		
		借金		
市		3,903万円		
<p>新たな雇用の創出や既存の雇用の維持を図るため、企業の立地や再投資に対する補助金で、令和5年度は新規所有型企業立地事業2件、再投資事業5件に対し補助金を交付しました。</p>				

5 産業の振興

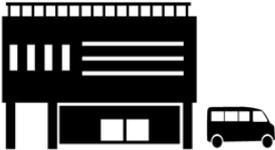
鮎子漁港第3卸売場整備助成				
	所管	水産課		
	事業費	1億8,746万円		
	財源	補助	1億8,746万円	
		借金		
市				
<p>県の補助制度を活用し、鮎子市漁業協同組合が実施する第3卸売場の整備を支援するもので、令和5年度は、第3卸売場の北側建物の建替工事を令和4年度から引き続き行い、また、新たに南側建物の建替工事が行われました。</p>				

「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援				
	所管	農産課		
	事業費	2,186万円		
	財源	補助	2,186万円	
		借金		
市				
<p>令和5年度は、省力化のための機械や業務効率化のためのスマート機器の導入、農業用施設の改修に対する補助を行い、園芸産地の生産力強化・拡大を進め、生産性の向上を図りました。</p>				

6 公共施設の適正管理

道路改良・整備・修繕				
	所管	土木室		
	事業費	2億3,632万円		
	財源	補助		
		借金	1億8,860万円	
市		4,772万円		
<p>道路や側溝の改良、交通安全施設などの計画的な整備を行いました。また、路面性状調査に基づく舗装修繕工事や道路附属物維持修繕計画に基づく道路照明灯のLED化などを行い、道路環境の改善及び道路利用者の安全確保を図りました。</p>				

旧清掃センター解体工事				
	所管	生活環境課		
	事業費	6億1,514万円		
	財源	補助	1億5,950万円	
		借金	4億3,370万円	
市		2,194万円		
<p>ごみ処理広域化施設整備に伴う旧鮎子市清掃センターの解体撤去を行うもので、令和5年度は3か年の継続事業の最終年度にあたり、令和6年3月15日をもって工事は完了しました。</p>				

斎場長寿命化				
	所管	生活環境課		
	事業費	3,697万円		
	財源	補助		
		借金	3,280万円	
市		417万円		
<p>築30年を超える斎場の長寿命化を図るため、令和5年度は屋根と外壁の改修工事などを実施しました。今後も複数年をかけて改修を行う予定です。</p>				

西部分署整備				
	所管	消防総務課		
	事業費	9,341万円		
	財源	補助		
		借金	9,320万円	
市		21万円		
<p>築30年を超える消防署西部分署の長寿命化を図るため、屋根と外壁の改修工事などを実施しました。また、新型コロナウイルス感染症などの感染症流行下であっても、業務が継続できるように仮眠室の個室化や救急消毒室を整備しました。</p>				

7 教育・文化の振興

(新) 銚子中学校整備			
	所管	教育総務室	
	事業費	6,877万円	
	財源	補助	
		借金	6,350万円
市		527万円	

令和9年4月開校予定の(新)銚子中学校の校舎などの整備に係る経費で、令和5年度は、新築する校舎と既存の屋内運動場の大規模改修に係る実施設計業務を委託しました。令和6年度から本格的な工事が実施される予定です。

銚子資産を活かした「学び」創出			
	所管	文化財・ジオパーク室	
	事業費	2,767万円	
	財源	補助	1,434万円
		借金	
市		1,333万円	

資料の企画展やワークショップなど、銚子資産を活かした多様な事業を開催しました。市外からの来訪者が各種事業に参加することで、地域住民との交流の機会となり、関係人口や交流人口の創出及び増加につながる取組となりました。

8 物価高騰対応支援

電力・ガス・食料品等 価格高騰重点支援給付金			
	所管	社会福祉室	
	事業費	9億1,246万円	
	財源	補助	9億1,246万円
		借金	
市			

電力・ガス・食料品などの価格高騰による負担の増加を踏まえ、家計への影響が大きい低所得世帯に対して、1世帯あたり10万円の給付金を支給しました。

子どもの成長応援臨時給付金			
	所管	子育て支援課	
	事業費	2,991万円	
	財源	補助	2,991万円
		借金	
市			

物価高騰の影響を踏まえ、習い事や体験活動などにかかる経費の負担を軽減し、将来を担う子どもたちが豊かな成長につながる機会を得られるように、小・中学生を対象に1人あたり1万円の給付金を支給しました。

就学前児童応援臨時給付金			
	所管	子育て支援課	
	事業費	3,614万円	
	財源	補助	3,613万円
		借金	
市		1万円	

物価高騰の影響を踏まえ、子育てにかかる経済的負担を軽減するため、就学前児童を対象に1人あたり3万円の給付金を支給しました。

水道事業会計補助及び出資			
	所管	企画室	
	事業費	4,208万円	
	財源	補助	4,208万円
		借金	
市			

一般会計から水道事業会計へ電力費や薬品代などの物価高騰分を補助することで、水道事業会計の経営の安定を図るとともに、市民や市内事業者の水道料金の負担軽減を図りました。

決算の基礎知識



Q. そもそも「令和5年度決算」ってなあに？

A 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間の収入（歳入）と支出（歳出）の実績をまとめたものです。また、市の台所事情がわかるので、ある意味“家計簿”や“通信簿”とも言えます。

Q. 一般会計・特別会計・公営企業会計の違いは？



A 一般会計とは、市のメインのお財布のことです。行政の基本的な活動に必要な経費を計上しています。

一方、特別会計とは、特定の事業を行うためにやりくりするお財布で、一般会計とは分けて管理しています。

公営企業会計は、地方公営企業法が適用される公営企業の事業を行うためのお財布で、銚子市には水道事業、病院事業、下水道事業の3つがあります。



Q. 決算カードってなあに？

A 決算カードは、普通会計にもとづいた決算の状況を、市町村ごとに1枚のカードにまとめたものです。

また、普通会計は、総務省が決めた全国統一の共通ルールを適用した会計区分なので、決算カードを使って市町村同士の財政状況を比較したり、分析することができるようになっています。



決算のあらまし



一般会計の歳入は、前年度に比べ7億3,297万円増(2.8%増)の272億1,543万円となりました。増加の主な要因は、旧銚子市清掃センター解体事業や名洗港港湾整備事業に係る千葉県への負担金などが増加したことにより、地方債が4億4,432万円増(33.4%増)、ふるさと納税の寄附金が増加したことにより、寄附金が4億424万円増(128.9%増)、また、ふるさと納税の返礼品などの経費に要する費用を、ふるさと納税を積み立てた基金からの繰入金で対応しているため、繰入金も2億2,712万円増(35.7%増)したことによるものです。

次に歳出ですが、前年度に比べ14億753万円増(5.5%増)の267億6,889万円となりました。

目的別決算では、民生費で物価高騰による負担増の影響が大きい低所得世帯に対して実施した電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業などの実施により7億8,263万円増(9.1%増)、土木費で名洗港港湾整備事業に係る千葉県への負担金の増加や道路・河川に係る整備費の増加などにより3億693万円増(19.8%増)となりました。

性質別決算では、普通建設事業費で旧銚子市清掃センター解体事業や名洗港港湾整備事業に係る千葉県への負担金、銚子漁港第3卸売場整備に係る銚子市漁業協同組合への補助金の増加などにより9億5,563万円増(57.3%増)、扶助費で目的別の民生費と同様に電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業などの実施により4億7,295万円増(9.5%増)となりました。

令和5年度の歳入歳出差引額は4億4,654万円の黒字で、これから翌年度への繰越財源9,311万円を差し引いた実質収支額は3億5,343万円となりました。家計でいうところの貯金にあたる財政調整基金の決算年度末残高は23億3,171万円となりました。

近年頻発する大規模災害への対応やエネルギー価格・物価高騰による支出の急激な増加などに対し、迅速かつ確実に対応するためには、財政調整基金の残高を適正な額に維持していく必要があります。今後も、事務事業の見直しや市債の借入抑制による歳出の削減とともに、未収金対策や市有地の貸付・売却などの歳入確保を強化していきます。

特別会計と企業会計は、令和4年度に引き続きすべての会計で黒字となりました。引き続き健全な財政運営を図ってまいります。

各会計の決算状況

区分	一般会計
歳入総額 ①	272億1,543万円
歳出総額 ②	267億6,889万円
歳入歳出差引額 ①－② ③	4億4,654万円
翌年度への繰越財源 ※ ④	9,311万円
実質収支額 ※ ③－④	3億5,343万円



区分	国民健康保険事業 特別会計	介護保険事業 特別会計	後期高齢者医療事業 特別会計
歳入総額 ①	73億 438万円	65億5,250万円	9億2,171万円
歳出総額 ②	72億9,780万円	64億2,284万円	9億2,053万円
歳入歳出差引額 ①－② ③	658万円	1億2,966万円	118万円
翌年度への繰越財源 ④	—	—	—
実質収支額 ③－④	658万円	1億2,966万円	118万円

※ 「翌年度への繰越財源」とは、年度内に事業を終わらせることができず、翌年度（令和4年度）へ繰り越すこととなった事業に充てる財源のことで、事業と一緒にその財源も翌年度へ繰り越します。

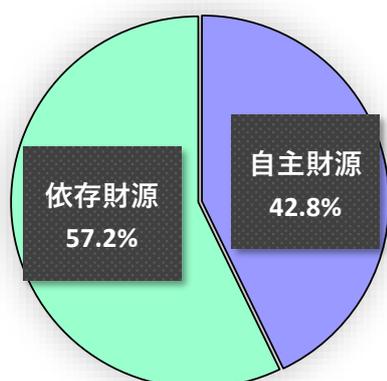
※ 「実質収支額」とは、その年度の歳入から、歳出と翌年度への繰越財源を差し引いたものです。この値がマイナスとなる状態を、一般的に『赤字』といいます。

一般会計の歳入歳出決算

歳入

項目	説明	決算額	
		令和5年度	令和4年度
自主財源	市が自主的に集めることができる収入です。	116億3,152万円	113億9,189万円
市税	皆さんが銚子市に納めた税金です。	79億 133万円	79億3,830万円
分担金及び負担金	事業に必要な経費の一部を受けるサービスの程度に応じて、利用者が負担するお金です。	1億3,566万円	1億3,046万円
使用料及び手数料	施設を利用する時や住民票などを発行する時にかかるお金です。	4億5,643万円	4億6,786万円
繰入金	各種基金（市の貯金）を取り崩して使うお金です。	8億6,322万円	6億3,610万円
その他	寄附金、土地や建物の売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金です。	22億7,488万円	22億1,917万円
依存財源	国や県から交付される財源や市債（借金）のことです。	155億8,391万円	150億9,057万円
地方交付税	国に納められた税金の一部で、市の財政状況に応じて配分されるお金です。	58億5,997万円	57億2,702万円
国・県支出金	国や県に納められた税金の一部で、特定の事業を行うために市に配分されるお金です。	59億1,862万円	59億8,520万円
市債	学校や道路などの施設を整備するために、国や銀行から借り入れるお金です。	17億7,506万円	13億3,074万円
その他	地方消費税交付金、地方譲与税、地方特例交付金などです。	20億3,026万円	20億4,761万円
計		272億1,543万円	264億8,246万円

令和5年度



自主財源が多いほど、自由に使えるお金が増えるので、自主的な事業ができるっちょ！！

経費を行政の目的ごとに
分類したっちょ！



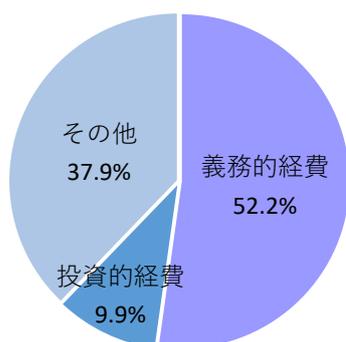
歳出決算状況（目的別）

項目	説明	決算額	
		令和5年度	令和4年度
議会費	議会運営のための経費です。	1億9,092万円	1億8,439万円
総務費	財産管理、統計、税の課税や徴収などの事務にかかる経費です。	40億6,398万円	38億 535万円
民生費	障害者や高齢者に対する福祉の充実、子育て支援などの経費です。	94億 31万円	86億1,769万円
衛生費	環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。	26億6,183万円	24億1,941万円
労働費	勤労者のための各種施設管理などにかかる経費です。	1,359万円	1,275万円
農林水産業費	農林水産業の振興、漁港整備などにかかる経費です。	11億7,570万円	13億2,371万円
商工費	商工業や観光の振興などの経費です。	4億2,920万円	5億9,725万円
土木費	道路や河川、公園などの社会資本整備のための経費です。	18億5,612万円	15億4,919万円
消防費	消防や火災予防などの災害対策のための経費です。	11億2,802万円	9億6,565万円
教育費	学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費です。	27億1,633万円	27億5,777万円
災害復旧費	大雨、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費です。	1,329万円	—
公債費	市債の元金、利子や一時借入金の利子のことです。	31億1,960万円	31億2,819万円
計		267億6,889万円	253億6,135万円

歳出決算状況（性質別）

項目	説明	決算額	
		令和5年度	令和4年度
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	139億7,402万円	134億4,966万円
人件費	職員の給与や議員報酬などです。	54億 319万円	53億4,319万円
扶助費	生活保護、障害者支援、医療費助成など福祉に使ったお金です。	54億5,123万円	49億7,828万円
公債費	市債（市の借金）の元金・利子の返済などに要する経費です。	31億1,960万円	31億2,819万円
投資的経費	道路、学校などの建設や大規模改修など施設の整備に要する経費です。	26億3,605万円	16億6,677万円
普通建設事業費（補助）	普通建設事業のうち国からの補助があるものです。	7億3,564万円	4億4,538万円
普通建設事業費（単独）	普通建設事業のうち国からの補助がないものです。	18億8,676万円	12億2,139万円
災害復旧事業費	地震、風水害などにより被災した施設の復旧経費です。	1,365万円	—
その他の経費		101億5,882万円	102億4,492万円
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などです。	31億2,454万円	31億4,189万円
維持補修費	施設の維持補修に要する経費です。	1億3,977万円	1億3,758万円
補助費等	一部事務組合に対する負担金などです。	25億1,944万円	28億5,242万円
積立金	各種基金（貯金・運用資金）への積立金です。	11億8,813万円	8億9,664万円
投資及び出資金	病院事業会計などに対する出資金です。	4億2,317万円	3億7,915万円
貸付金	市が一時的に貸し出す経費です。	2億1,620万円	3億1,533万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	25億4,757万円	25億2,191万円
計		267億6,889万円	253億6,135万円

令和5年度決算



必ず支出しなければならない
“義務的経費”が約5割を
占めているっちょ！！



財政構造の弾力性と健全化判断比率

財政構造の弾力性を表す経常収支比率は**92.1%**です。

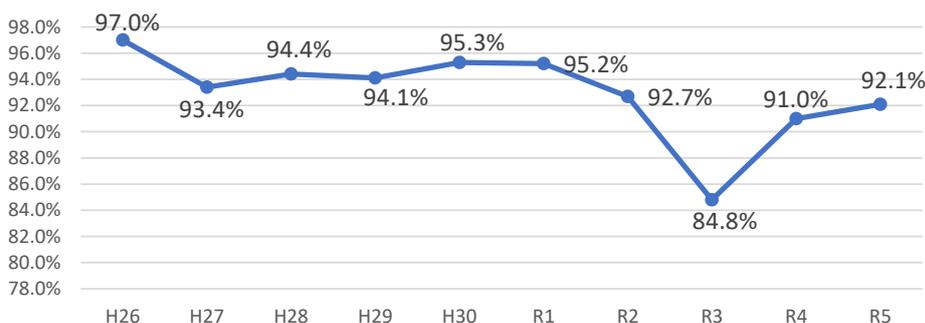


経常収支比率とは、人件費、扶助費、公債費などのように毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源※が、一般財源総額のうち地方税、普通交付税のように毎年度経常的に収入される一般財源に対し、どの程度の割合となっているかをみることにより、財政構造の弾力性を判断するもので、低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示しています。

※ その用途が特定されていない財源（地方税、地方交付税など）のこと。使い道が決まっている財源（国庫支出金、地方債など）は特定財源という。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{人件費、扶助費、公債費等に充当した一般財源}}{\text{経常一般財源等（地方税+普通交付税等）+減収補てん債特例分+臨時財政対策債}} \times 100$$

経常収支比率の推移



令和5年度は、前年度の91.0%から92.1%に増加しました。

増加の主な要因として、歳入では、地方税収の増加の影響により、国が臨時財政対策債の発行を抑制したことにより、本市の発行額は約1.6億円減少し、分母の経常的収入は約1.2億円減少しました。一方で、歳出では、エネルギー価格・物価高騰の影響による光熱水費や業務委託料などの物件費の増加や公営企業会計への繰出金の増加などにより、分子の経常的支出が約0.5億円増加したことが挙げられます（経常的収入が増えたり、経常的支出が減ったりすると、経常収支比率は改善していきます。）。



Q. "健全化判断比率"ってなあに？

平成19年に交付された『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』により、自治体は毎年、財政の健全度を客観的に示すための健全化判断比率を公表しなければなりません。

詳細は次のページに記載されていますが、健全化判断比率には4つの指標が用いられており、一定の基準を超えたときには財政運営の健全化を図るための計画策定が必要となります。

健全化判断比率および資金不足比率



市の財政の健全度を判断する4つの指標だっちょ!

実質赤字比率

一般会計などの赤字が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを表す指標で、財政運営の深刻度を示します。

連結実質赤字比率

全会計の赤字が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを表す指標で、自治体全体の財政運営の深刻度を示します。

実質公債費比率

一般会計などが負担する借金の返済額が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを表す指標で、資金繰りの危険度を示します。

将来負担比率

一般会計などが将来負担すべき負債の額が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合かを表す指標で、将来の財政負担の大きさを示します。

健全化判断比率の状況	令和5年度決算	令和4年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	12.78%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	17.78%	30.00%
実質公債費比率	13.4%	12.2%	25.00%	35.00%
将来負担比率	65.1%	67.8%	350.00%	基準なし

※早期健全化基準と財政再生基準は、令和5年度の数値です。



銚子市の健全化判断比率は、左のとおりだっちょ

健全化判断比率の近隣市比較		銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
実質赤字比率	令和5年度	—	—	—	—
	令和4年度	—	—	—	—
連結実質赤字比率	令和5年度	—	—	—	—
	令和4年度	—	—	—	—
実質公債費比率	令和5年度	13.4%	9.9%	7.3%	9.3%
	令和4年度	12.2%	9.5%	6.8%	8.8%
将来負担比率	令和5年度	65.1%	—	5.7%	5.2%
	令和4年度	67.8%	—	9.7%	18.7%

※令和5年度の指標数値は、決算カードの速報値となります。

近隣市と比較してみると、銚子市は健全化判断比率が非常に高いということがわかります。その要因としては、特に市の貯金(=基金)が少ないことが影響していると考えられます。

指標数値がさらに悪化すると…



健全化判断比率の4つの指標のうち1つでも『早期健全化基準』を超えると、イエローカード状態(=財政健全化団体)となります。

財政健全化団体になると、議会の議決が必要な財政計画を定め、公表しなければならず、**市主導で事業を行うことが難しく**なります。



健全化判断比率の4つの指標のうち1つでも『財政再生基準』を超えると、レッドカード状態(=財政再生団体)となります。

財政再生団体になると、議会の議決が必要な財政計画を定め、公表しなければならないのはもちろんのこと、**国(総務省)の関与のもとで財政運営を行うこととなり、市の主導で事業を行うことがほぼできなくなり**ます。

資金不足比率

各公営企業会計において、資金不足額がその事業規模に対してどの程度の割合となっているかを表す指標です。

資金不足比率の状況	令和5年度決算	令和4年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.00%
病院事業会計	—	—	20.00%
下水道事業特別会計	—	—	20.00%

※経営健全化基準は、令和5年度の数値です。

借金残高

一般会計借金残高（市債現在高）

項目	令和5年度末	令和4年度末	項目	令和5年度末	令和4年度末
普通債	135億2,722万円	137億8,062万円	その他	101億8,885万円	111億6,602万円
総務	11億7,757万円	14億1,667万円	減税補てん債	3,066万円	5,468万円
民生	9,744万円	1億1,423万円	臨時財政対策債	100億6,363万円	109億7,542万円
衛生	33億4,555万円	30億9,524万円	減収補てん債	3,031万円	3,955万円
農林水産	11億5,448万円	11億 108万円	退職手当債	6,425万円	9,637万円
商工	3,105万円	3,923万円	計	237億2,277万円	249億4,664万円
土木	19億8,527万円	18億7,773万円	市民1人当たり	431,198円	442,528円
住宅	1億 813万円	1億3,210万円	※市民1人当たりの金額は、令和6年1月1日現在の人口から算出しています。		
消防	19億4,575万円	19億9,173万円	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>借金の残高は、前年度と比較して12.2億円程度減少しました。これは、臨時財政対策債などの償還が終了したことや令和5年度の市債発行額（約17.8億円）が償還額（約30億円）を下回ったためです。</p> <p>引き続き、計画的に借金の返済を進め、必要な事業をしっかりと見極め、新たな借金の抑制に努めていきます。</p> </div>		
教育	36億8,198万円	40億1,261万円			
災害復旧債	670万円	0万円			
農林水産	670万円	0万円			
土木	0万円	0万円			
教育	0万円	0万円			
その他	0万円	0万円			

令和5年度末 普通会計借金残高（『令和5年度決算カード（速報値）』より）

近隣市との比較		銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
借金年度末残高	令和5年度末	237億2,277万円	317億4,246万円	127億609万円	384億9,234万円
	市民1人当たり	431,198円	505,880円	375,953円	543,746円

※市民1人当たりの金額は、令和6年1月1日現在の各市の人口から算出しています。

学校や道路などの大きな施設の整備には一時的に何千万円、何億円といった多額のお金が必要になります。そのお金を1年間の予算でまかなってしまうと、他の事業ができなくなってしまいます。

また、学校や道路などの大きな施設は現在の市民だけでなく、将来30年から40年もの長い間、たくさんの方が利用する施設ですので、将来の市民の方にも平等に負担していただくことも、市債を活用する理由の一つです。

世代間の負担の公平を図るうえで市債発行の意義はもちろんありますが、前ページのとおり、近隣市と比較すると、健全化判断比率が非常に高い状況にあります。ただ市債を漫然と発行するのではなく、市債を発行する事業の選択と交付税措置のない市債の発行抑制に努めていきます。

貯金残高

貯金残高（基金現在高）

基金名	令和5年度末	令和4年度末
財政調整基金	23億3,171万円	18億2,162万円
減債基金	3億4,714万円	2億7,265万円
災害対策基金	9,052万円	9,621万円
一般廃棄物処理施設整備基金	1,645万円	1,645万円
豊里住宅団地公共施設整備等基金	3億8,571万円	4億1,149万円
ふれあい福祉基金	2,719万円	2,637万円
地域再生基金	1億4,889万円	1億4,632万円
がんばれ銚子ふるさと応援基金	2億3,146万円	1億8,059万円
公共施設等総合管理基金	2億2,143万円	1億 308万円
一般廃棄物最終処分場設置地域振興基金	118万円	80万円
銚子電気鉄道応援基金	1億1,451万円	7,772万円
漁業振興基金	1億2,138万円	1億9,295万円
森林環境基金	2,877万円	2,168万円
しごと・ひと・まち創生推進基金	100万円	278万円
再生可能エネルギー活用推進基金	150万円	100万円
子ども未来基金	1億3,843万円	65万円
国民健康保険事業財政調整基金	0万円	4,050万円
介護保険事業財政調整基金	6億2,907万円	5億7,006万円
計	48億3,634万円	39億8,292万円
市民1人当たりの財政調整基金現在高	42,382円	32,314円

令和5年度末 財政調整基金残高（『令和5年度決算カード（速報値）』より）

近隣市との比較		銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
財政調整基金の 現在高	令和5年度末	23億3,171万円	80億8,152万円	27億6,642万円	68億3,925万円
	市民1人当たり	42,382円	128,795円	81,854円	96,612円

※市民1人当たりの金額は、令和6年1月1日現在の各市の人口から算出しています。

基金とは市の貯金にあたるもので、予算不足に充てるための「財政調整基金」と使い道が決まっている「特定目的基金」に分けられます。上記の表は、その残高を表しています。

銚子市の財政調整基金は、近隣の市と比較するといかに少ないかわかると思います。今後は、財政調整基金の現在高を適正な額※に維持していく必要があります。

※銚子市の財政規模であれば、15億円程度の現在高があると望ましい。



普通会計決算の近隣市との比較



市民1人当たりの歳入決算額

項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
自主財源	210,453円	200,701円	179,053円	212,199円
市税	143,619円	125,036円	115,588円	128,550円
分担金及び負担金	2,225円	1,427円	3,793円	1,363円
使用料及び手数料	8,762円	5,006円	4,074円	3,313円
繰入金	15,690円	16,497円	25,638円	24,856円
その他	40,157円	52,735円	29,960円	54,117円
依存財源	283,816円	342,488円	316,402円	337,185円
地方交付税	106,514円	148,254円	151,845円	137,154円
国・県支出金	108,135円	109,888円	117,232円	118,977円
市債	32,264円	47,470円	9,569円	42,236円
その他	36,903円	36,876円	37,756円	38,818円
計	494,269円	543,189円	495,455円	549,384円

市民1人当たりの目的別歳出決算額

項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
議会費	3,469円	3,479円	5,237円	3,177円
総務費	67,175円	67,203円	54,010円	86,904円
民生費	172,788円	167,821円	185,010円	177,598円
衛生費	50,637円	85,393円	53,275円	53,970円
労働費	247円	23円	0円	129円
農林水産業費	21,371円	16,564円	22,328円	19,939円
商工費	7,801円	7,386円	10,015円	13,027円
土木費	35,029円	47,030円	20,127円	29,591円
消防費	20,689円	25,358円	22,728円	35,268円
教育費	49,994円	40,837円	41,305円	37,221円
災害復旧費	248円	0円	165円	1,258円
公債費	56,704円	59,911円	49,920円	58,435円
計	486,152円	521,005円	464,120円	516,517円



市民1人当たりの性質別歳出決算額

項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
義務的経費	253,999円	258,295円	253,022円	232,015円
人件費	98,211円	94,368円	90,986円	70,570円
扶助費	99,084円	104,016円	112,120円	103,010円
公債費	56,704円	59,911円	49,916円	58,435円
投資的経費	47,914円	53,861円	22,737円	41,825円
普通建設事業費（補助）	13,371円	13,026円	1,378円	11,550円
普通建設事業費（単独）	26,603円	39,981円	15,648円	27,807円
県営事業負担金	7,692円	854円	5,546円	1,210円
災害復旧事業費	248円	0円	165円	1,258円
その他の経費	184,239円	208,849円	188,361円	242,677円
物件費	56,380円	59,678円	54,749円	62,213円
維持補修費	2,540円	2,540円	7,390円	3,524円
補助費等	45,795円	76,251円	71,902円	88,408円
積立金	21,596円	17,002円	2,631円	30,749円
投資・出資金、貸付金	11,622円	15,421円	6,363円	13,984円
繰出金	46,306円	37,957円	45,326円	43,799円
計	486,152円	521,005円	464,120円	516,517円

本市は、他市と比較すると、人件費が多く、補助費等が少ないことが大きな特徴となっています。これは、市立高校を有し教育関係の職員数が多いことや、消防業務などを直営で行っているため一部事務組合に対する負担金が少ないことが要因といえます。なお、ごみ処理業務は、東総地区広域市町村圏事務組合が主体となり、令和3年度から広域ごみ処理施設（銚子市・旭市・匝瑳市）が稼働を始めたところです。

もうひとつの特徴として、公債費は、他市と比較して特に多いということではありませんが、前述のとおり、実質公債費比率は極端に高くなっています。これは、公債費の支出に対し、国からの支援（地方交付税）のない借金の償還が多いため、千葉科学大学建設費助成事業や市立銚子高校整備などが該当します。大規模事業の中には、償還が終了したものもありますが、令和7年頃までは、比較的高い水準で推移していく見込みです。



令和5年度決算
銚子市のわかりやすい決算書

- 発行年月日 令和6年9月
- 発行・編集 銚子市・財政課財政室
〒288-8601
銚子市若宮町1番地の1
電話 0479-24-8926
- 銚子市ホームページ

<https://www.city.choshi.chiba.jp/>

